

わ か ば

2018. 6. 9
第18-09号
文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

重点目標 一人一人が輝く教育 ～期待登校・満足下校～

ハプニングも悪いものではない。・・・あったかい心との出会い

先月末の夜9時過ぎ、ポートランド市内から戻るマックスの車内に、日ごろにない、女性の長いアナウンスが流れ、緊張感が漂ってきました。状況がよく理解できないでいる私に気づいた乗客の丁寧な説明で、ようやく事態が理解できました。実は倒木事故があり、復旧のためしばらく運転を見合わせ、停車して待機するアナウンスでした。

復旧の見通しが無い中、どうやって車を置いている駅までたどり着けばよいかと、運転手さんなどに尋ねました。バスはないかと探している様子を察してか、見知らぬ方からも声をかけていただきました。そうこうするうちに、幸運にも思ったより早く復旧作業が終わり、復旧待ちしていた女性の運転手さんが、早く電車に乗るようにと優しく手招きしてくれ、再び乗車することができました。

無事に目的駅に着いたことを伝えようと、運転席が見える位置まで行き、感謝の気持ちを込め大きく手を振ると、運転手さんも笑顔で手を振りながら、マックスは遠く小さくなっていきました。

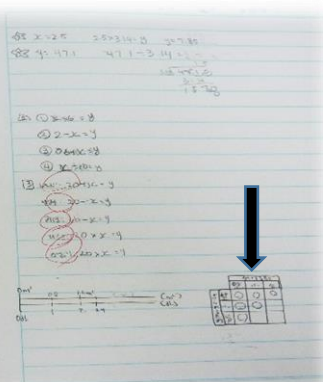
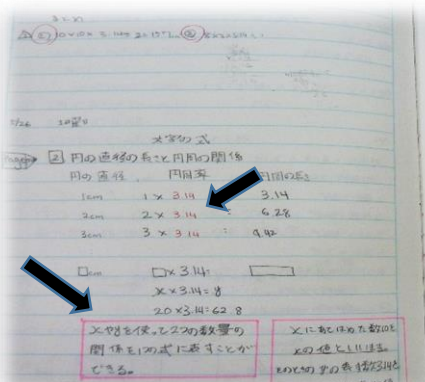
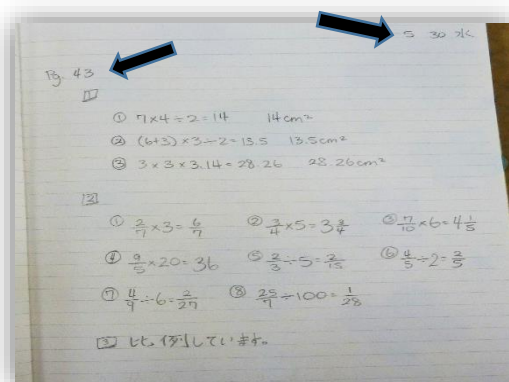
倒木事故のハプニングで、何人もの親切、真心に出会えた気がします。ハプニングで多くの人との出会いがあり、感謝と喜びを感じながら、自宅までのハンドルを握りました。



人との出会いや触れ合いは、相手理解、相互理解の土台、基本ではないかと思います。見えない相手に互いに恐れや怒りを感じたのが、70数年前の戦争なのかなと思います。お互いが同じ人間同士として、相手のこと、互いの国のことをもっと理解していれば、国際的な争いごとの解決策も変わっていたのかもしれませんが、なかなか、そう上手くはいかないのが現実でしょうか。

それでも、大切な園児や児童生徒たちには、6年生の国語にある「未来がよりよくあるために～平和のとりでを築く～」の学びにあるように、国連のユネスコ憲章「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かねばならない」の心を育み、誰もが平和な世の中で、豊かな人生を歩んでいってほしいと思った出来事でした。

ノートのとり方は、思考の整理につながります。II・・・ノートのよさ(小学部6年)





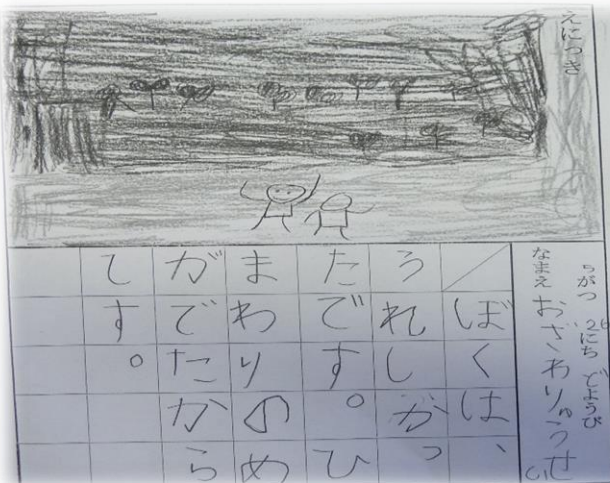
- 左のノートのはきは、問題と答えがすっきりと書かれていることに加えて、右上の日付と左上のページ番号が記入されているところです。何月何日の何ページのどのような学習であるかがすぐわかり、学習記録としてのノートとなっています。文字も実に丁寧でとても分かりやすいノートです。
 - 右のはきは、区別、識別することができるように、重要な円周率「3. 14」の赤文字やまとめの赤線での囲みがいいですね。「ここが大事、忘れてはいけない」といった、学習者の強い意志を感じます。また、右端の小さな表にまとめたことも、確実に考えをまとめ、整理して理解しようとする気持ちが、よくあらわれています。
- (※見開きでないと全体が分かりづらいので、少し大きめの写真にしています)



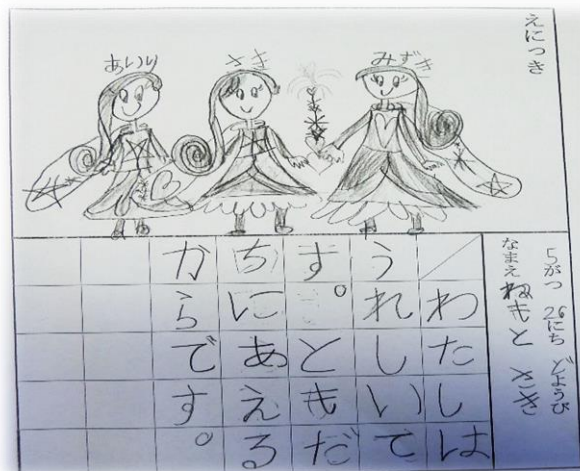
児童生徒の作品紹介 VI

6月30日(土)運動会です。

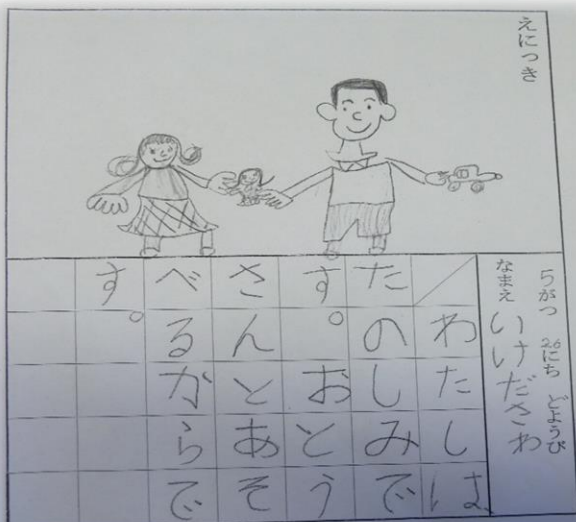
今回は、1年生が初めて習ったひらがなの作品を紹介します。
次週は、紹介できる作品が増えることを期待しています。多くの
作品との出会いは、楽しみの一つです。 校長 信國 寿敏



1ねん おざわ りゅうせい



1ねん ねもと さき



1ねん いけだ さわ



1ねん ほしの えいでん



学び始めの1年生らしい、たどたどしい文字がかわいくもあります。しかし、学年を重ねていくと、どんどん上手になります。保護者としては、残しておきたい成長の記録になる宝物の作品かと思います。将来、お子様の成長を回想するのにもってこいの一枚でしょう。子どもたちが持ち帰ってきますので、コメントを添えて大切に保管されてはいかがでしょうか。

本人も大きくなって、「なぜこんな字や絵を書いたんだろう」と、笑いながら見ることでしょう。1年生時代は、保護者も本人にとっても、思い出深い1年間になると思います。

時間のみとおしと学習意欲を高める手立て・・・タイマーの利用(小学部1年、4年)

「この問題をやってみましょう」と、「この問題を3分間でしましょう」では、子供の活動、動きが違ってきます。大人でも時間の期限なしの仕事と期限ありの仕事では、違うはずです。時間のみとおしを持ち、頭の回転が速くなり、能率的な思考が働きだします。みとおしを持った学習をする上では、時間の提示は有効な手立てです。

時間の提示の重要なポイントは、子供たちが大きな負担を感じず、達成が可能であり、達成感を味わうことができるかどうかです。慣れてくれば、「3分でできるかな？」と言えば、「まだ早くてもできる」と、チャレンジ精神を発揮し、学習意欲が高まってくるようになります。



「学級文庫にマンガを置いてもよいか」・・・肯定側 VS 否定側の学級討論会(小学部6年)

6年生国語の学習「学級討論会をしよう」に、相手を納得させるような主張を基に、話す・聞くに重点を置いた討論会活動があります。

写真は、「(仮定)学級文庫にマンガを置いてもよいか」を、肯定側と否定側に分かれて討論しているところです。「本への興味を持つことができるから賛成です。」

「マンガは家でも読めるし、きたない言葉が多い。きれいな日本語を学びたいから反対です。」など、活発な意見の交流が 있었습니다。

先週号で紹介した中学生の主張のように、しっかりと考えているところがとても印象的でした。



本物との出会いの工夫・・・

かんさつ名人(小学部2年)

葉っぱの強い香り、ざらっとした手ざわり、いくつも青い実をつけたトマトの苗木との出会いは、子供たちの「かんさつ名人ぶり」の発揮につながり、観察文を書く意欲がぐんと高まっていました。

また、休み時間には、「これがトマトの赤ちゃんで、こっちのはちょっと大きくなってから、お姉ちゃんだね。」「じゃ、こっちはおっきいからお父さんだ。」などの楽しい会話が生まれていました。

本物との出会いの工夫をしていただいた先生に感謝いたします。



C R T の全国平均の広報に誤りがありましたので、お詫びと訂正を致します。

昨年度末の「わかば44号」のC R T結果の広報の中で、全国平均の提示に誤りがありました。

つきましては、保護者の皆様や関係各位にお詫びを申し上げるとともに、再度入手したC R Tの業者提供のデータを基に、下記のとおり、正しい数値に書き改め、ご報告いたします。 校長 信國 寿敏
 ※下段の下線があるゴシックの数値が、正しい全国平均です。

特に、誤っていた数値を正しく書き改めたものは、**極太ゴシックの四角囲み(□)**で表示しています。

小 学 部					中 学 部 ・ 高 等 部				
学 年	国 語		算 数		学 年	国 語		数 学	
	全国平均	本校平均	全国平均	本校平均		全国平均	本校平均	全国平均	本校平均
小学部1年	79.8	83	79.2	86	中学部1年	62.4	68	54.7	73
	<u>79.8</u>		<u>79.2</u>			63.0		56.8	
小学部2年	77.1	77	78.0	81	中学部2年	63.9	76	58.3	86
	<u>77.1</u>		<u>78.0</u>			65.8		61.5	
小学部3年	64.9	71	75.0	87	中学部3年	67.5	57	66.0	72
	<u>64.9</u>		75.4			68.4		67.3	
小学部4年	70.8	73	69.5	85	高等部1年	—	77	—	67
	<u>70.8</u>		<u>69.5</u>			—		—	
小学部5年	65.2	67	68.3	82	高等部2年	—	67	—	57
	<u>65.2</u>		<u>68.3</u>			—		—	
小学部6年	71.5	68	67.1	80	高等部3年	—	67	—	57
	<u>71.5</u>		<u>67.1</u>			—		—	

【学校事務局からのお礼と報告】 ティッシュボックスのご寄附、ありがとうございました。

多くの保護者様のご寄附により、これまでに、総計**64個**ご寄附いただきました。

当面は、各学級に不足なく配ることができます。

誠に、ありがとうございました。

つきましては、**寄附の期間を一度終了させていただきます**。あらためて、ご寄附をお願いする時期が来た折は、よろしくお願いいたします。



